

自然災害への備え、万全でしょうか？

近年、各地で自然災害（地震、台風、大雨など）の頻度が増え、大きな被害が見受けられます。また、令和6年8月8日に発生した日向灘の地震においては、南海トラフ沿いで続いて発生する地震、いわゆる「後発地震」への注意を促す情報として、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が内閣府及び気象庁から発表されました。

この様に災害はいつ、どこで発生するかわかりません。

9月1日は「防災の日」です。自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。



事前に以下の様な確認や備えが重要となります

- 非常用持ち出し袋の準備、水や食料を備蓄しておく。
- マイ・タイムラインの作成やハザードマップを確認しておく。災害が起きた時に避難する場所や避難経路を確認、自治体の最新情報を確認し、対処する。
参考（国土交通省）[マイ・タイムライン \(mlit.go.jp\)](https://mlit.go.jp)
- 家具が転倒しないよう、家具は壁に固定する、倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう家具の向きや配置を工夫する。

防災グッズは、以下のようなものが挙げられます。

リュックサック（防災グッズを事前に入れておく）、懐中電灯（ヘッドライトなど）、乾電池、ラジオ、スリッパ、タオル、レインコート、防災ずきん、ホイッスル、給水袋、携帯トイレ、乾パン（非常食）、水、ガムテープ、軍手、マスク、消毒液、衛生用品（下着類、おむつなど）、ティッシュ、レジャーシート、絆創膏などの救急グッズ、メモ帳（筆記具）、防災シューズなど

※電池切れしていないか、非常食、水は消費期限が過ぎていないか、装備は使用できるか、いざという時の使用方法の確認など事前にチェックしておくことも大事です。

ボーケンでは、防災に関連した様々な試験を実施しております。今回は緊急避難時に必要な防災グッズの試験について、一部ご紹介致します。

テープ類（ガムテープ、セロハンテープなど）

粘着力 (JIS Z 1523)

試験片をステンレス板に圧着させる。試験機の下側の治具にステンレス板の片側を固定し、上側の治具に試験片の端を固定し、引張速度300mm/minでステンレス板に対して180度引き剥がし、粘着力を求める。



防災リュック

把手の取付強さ (ボーケン法)

試験体の把手取付部に対し、定速伸長形引張試験機にて引張速度100mm/minで引っ張り、縫い付け部の破断、把手破断等の異常が生じたときの強力を測定する。



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

生活産業資材事業本部

☎ 03-5669-1382

■東京生活用品試験センター

〒135-0001 東京都江東区毛利1丁目12番1号

☎ 06-6577-0124

■大阪生活用品試験センター

〒552-0021 大阪府大阪市港区築港1丁目6番24号